

医療法人財団今井会足立病院 足立病院 を受診されたことのある患者様へ

当院において、現在以下の臨床研究を実施しております。

この臨床研究の対象に該当する可能性のある患者様のうち、研究目的で使用される診療情報などの提供を御希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせください。

研究課題名(研究番号)	妊娠に伴う合併症の早期診断に役立つバイオマーカーと新規治療法の探索 (研究番号：19-001)
当院の研究責任者(所属)	井上卓也(足立病院)
他の研究機関及び各施設の研究責任者	近藤英治(京都大学 婦人科学産科学 准教授)
本研究の目的	日本では充実した妊婦健診体制が構築されているが、いまなお早産、妊娠高血圧症候群、常位胎盤早期剥離、子宮内胎児発育遅延などの妊娠に伴う合併症が存在し、時として母体、胎児に重篤な結果を及ぼす。さらに、これらの合併症をともなつて出生した児には、出生後の神経発達への影響が懸念されている。このような妊娠合併症に対し、簡便で感度の高い早期診断法は確立しておらず、またその治療も主に対処的であり、妊娠の継続を断念しなければならない症例も少なくない。そこで、本研究では妊娠に伴う合併症の早期診断に役立つバイオマーカーならびに新規治療法を探索することを目的とする。
調査データの該当期間	2019年2月4日～2021年3月31日
研究方法(対象者)	足立病院で妊婦健診を受けており、早産となるリスクが高い子宮頸部円錐切除後妊娠を対象とする。足立病院での目標症例数は10例とする。
研究方法(使用する情報)	京都大学病院のみでは検体回収が困難な早産症例の腔分泌物のみを対象とし、特に早産のリスクが高い妊婦の腔分泌物(1g)を妊娠初期および中期に、通常の妊婦健診で行う腔鏡診検査の際に滅菌綿棒で採取する。
試料/情報の他機関への提供	妊婦健診時に腔鏡下で採取した腔分泌物(1g)を提供する。
個人情報の取り扱い	使用する情報から氏名や住所などの対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究結果は学会などで発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません
本研究の資金源(利益相反)	本研究に関連し開示すべき利益相反関係にある企業などはありません
お問い合わせ先	電話:075-221-7431 担当者:井上卓也
備考	